

1 テーマ

「自分の思いをもち、表現できる子の育成を目指して」

2 テーマ設定の理由

本校の多くの子供が、ゲーム的な活動や歌を好み英語の音声や表現に慣れ親しむことができる。また、子供の振り返りカードには「外国語活動が楽しい。」「英語が話せるようになってきた。」というような感想が多く、外国語活動の時間を楽しみにしている様子が見られる。また、外国人児童も多く在籍しているので、外国語への抵抗も高くはない。しかし、普段の様子を見てみると、自分の思いを相手にうまく言葉で伝えることができず、喧嘩になったり言い合いになったりする子供が多くいる。そこで、「友達に思いが通じると楽しい」「友達のことを知るのが楽しい」という思いを感じさせ、友達とうまく思いを伝え合うことができる力を育てたいと思い、本テーマを設定した。

3 5年生の実践

単元名 Hi, friends! 1 Lesson7 「What' s this?」(全4時間)

<活動内容の工夫>

子供が「知りたい」「伝えたい」という思いをもって活動に取り組むことができるように、興味をもって取り組むことができる活動を取り入れた。はてなボックスを活用したことで、子供の興味を惹きつけることができた。また、一人一つ「3ヒントクイズ」を作り、ペアでクイズを出し合った。自分が選んだ題材でクイズを作ることで、クイズを出したいという思いを高めることができた。



<交流の場の設定>

ALT訪問時には、教室ではなく外国語ルームへ移動して授業を行う。教室環境を変えることで、自由に友達のところへ行ったりALTとの距離も近くなったりする。子供たちは積極的に多くの友達と関わろうとし、交流を楽しむ様子が見られた。さらに、より多くの友達と関わるように、交流の際には、「男子〇人、女子〇人」「今日一度も会話をしていない人と交流する」というような課題を設けた。

4 成果

- ・活動内容を工夫することで、自分の思いをもって活動に取り組む姿を見ることができた。
- ・交流に課題を設けることで、男女間での交流を自然と行うことができる児童が増えた。

5 課題

- ・ゲーム的な活動を多く取り入れると、子供たちが盛り上がりすぎてしまい、授業ではなく遊びの時間になってしまうことがあった。子供の実態に合わせてゲーム的活動の量を工夫する必要がある。
- ・5年生4クラスが足並みを揃えた活動をするのが難しかった。普段から、外国語活動でどのような活動をしたのかを気軽に話せるとよい。